

九州の新規就農の状況について

調査の目的及び実施方法

本調査は、管内における新規就農者の実態を把握し、今後の新規就農の支援策の検討に資するため、各県の協力を得て実施した。(19年4月)

なお、新規就農者数は、各県が県内における過去からの経緯及び農業の実態等に基づき、それぞれ定義を定めて調査している数字を提出いただきとまとめたものである。

要旨

九州管内の新規就農者は、1,308人

九州における18年度の新規就農者数は、1,308人であった。

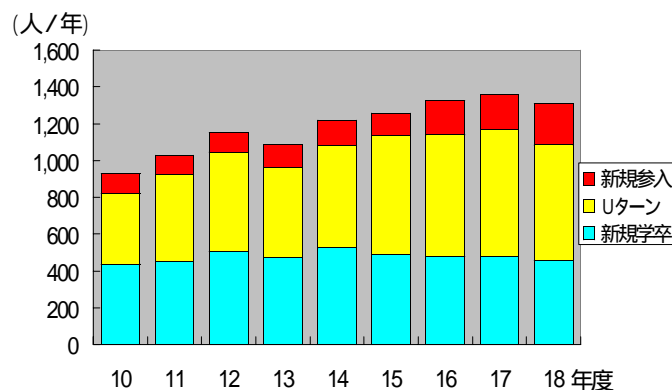
このうち新規参入者は近年増加傾向にあり、17年度は189人であったが、18年度は225人となった。

新規就農者数の推移

(単位:人)

	10	11	12	13	14	15	16	17	18
新規学卒	434	455	505	476	524	488	479	479	458
Uターン	386	469	539	485	554	647	658	691	625
新規参入	108	104	108	122	140	124	187	189	225
計	928	1,028	1,152	1,083	1,218	1,259	1,324	1,359	1,308

新規就農者の推移



県別新規就農者数は、鹿児島県がトップ

県別にみると、鹿児島県が335人と最も多く、次いで宮崎県が243人、熊本県が220人と200人を超えており、この3県で約6割を占めている。

新規学卒者は、熊本県がもっとも多く113人、次いで鹿児島県が112人、長崎県が86人と、この3県で約7割を占めている。

Uターン者は、鹿児島県が178人と最も多く、次いで宮崎県が116人と、この2県で約5割を占めている。

新規参入者は、宮崎県が76人と最も多く、次いで大分県が53人、鹿児島県が45人で、この3県で約8割を占めている。

県別新規就農者数

(単位:人)

県名	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	合計
新規学卒	50	22	86	113	24	51	112	458
Uターン	81	59	61	87	43	116	178	625
新規参入	21	7	3	20	53	76	45	225
計	152	88	150	220	120	243	335	1,308

経営部門別にみると、野菜部門と畜産部門で全体の約6割

経営部門別の新規就農者数を見ると、施設野菜が309人と最も多く、次いで露地野菜が187人、肉用牛178人となっており、露地と施設を合わせた野菜部門が496人、酪農・肉用牛・養豚・養鶏を合わせた畜産部門が308人と多く、その合計で全体の約6割を占めている。

経営部門別新規就農者数

(単位:人)

県名	耕種						畜産				その他	合計
	稲作・麦類作	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花卉・花木	酪農	肉用牛	養豚	養鶏		
福岡	31	8	12	49	26	18	2	2	0	2	2	152
佐賀	15	5	10	34	10	4	2	7	1	0	0	88
長崎	8	7	36	36	10	17	5	19	2	2	8	150
熊本	14	18	29	60	32	10	17	20	6	4	10	220
大分	7	1	14	44	13	4	12	15	2	0	8	120
宮崎	7	14	32	65	12	7	7	49	43	3	4	243
鹿児島	15	65	54	21	15	20	4	66	5	11	59	335
計	97	118	187	309	118	80	49	178	59	22	91	1,308
割合	7.4%	9.0%	14.3%	23.6%	9.0%	6.1%	3.7%	13.6%	4.5%	1.7%	7.0%	100.0%

経営部門別新規就農者割合

